

ゆづの郷

新春 2011. 1

おにしか更生園 第38号 / ほっぷすてっぷ 第7号



笑顔がいっぱいで過ぎていった 2010 年。
2011 年も沢山の笑顔がみられますように…。

やすらぎ寮

うちの寮の余暇は「食」の一言につきまします。外食はもちろんですが、旬の食材を求めて鬼鹿を飛び出すこともあります。今年で言うときくらんぼ狩り等を行いました。普段行かないような場所へ外出して美味しいものを食べ、楽しく気分転換してもらおうと思いい企画したりとただ食べるだけではなく、色々な目的を持って行っています。

最近ではケアホームで暮らしている方の誕生会を同じケアホームの仲間と一緒に行いました。これからも余暇を楽しんで元気に過ごそうね！

はばたき寮

はばたき寮の余暇はいつもアクティブ♪ ボウリングやカラオケで、はしゃいでできたり・・・そんな中でも、「外食」も大きな楽しみなのですが、最近はお女の子に負けじと、外食ではなく園内での調理実習なんかも、余暇として実践しています。



これから、地域生活を目指していくメンバーも多いですから、ご飯作りだって頑張っていかなきゃね♪でもせっかくなので作るんなら好きな物が食べたい！是非上達したら、ご家族や私たちがタッフにもご馳走して欲しいものです☆



各寮の余暇での様子

もえぎ寮

私たちの余暇は、買い物、外食、カラオケ、作品作り、調理実習など本人の希望に添った余暇を展開しています。

居酒屋での外食やコンビニで好きな食べ物を買って、食べたりと私たちが日常的に行っていることを常に提供できればと考え取り組んでいます。おかげさまで、居酒屋での外食は人気が高く、順番待ちをしなければいけない反響ぶりでありリピーターが多い余暇の一つとなっています。

食べることが多いことで体重増えないか心配ですが、運動を取入れた余暇と交互に組

みながら楽しみのもてる場となればと思います。これからも皆さん個々の見合った余暇を提供していきたいと考えています。

エンジョイ！人生☆☆☆



法人幹部職員研修

社会福祉法人新学生会では職員研修会を独自で行っています。旭川・美瑛・初山別・鬼鹿とそれぞれの地区より職員が集まり年二回、全職員を対象とした研修と、幹部職員対象の研修を行っています。新学生会としての指針を確認したり、各地区の取り組みを報告し合い、研修を深めてきました。

今年度の幹部職員研修会では、法律の改正や新体系移行などで、それぞれの職場のチームワークの強化と幹部職員としての役割を再認識する意味で、外部講師を招いて研修を行いました。株式会社アムリプラザという所から来て頂き、「職場力・チーム力向上をめざして」ということ

で、リーダーの役割・組織力の強化を中心に講義を聞き、自分たちの力の薄い部分の確認や、チーム・チームワークの意味合い、良いチームワークづくりの要点などを学びました。私達は、利用して頂いている皆さんが、安心・安全に利用して貰い、信頼して頂ける施設づくりを目指し、さらには実践の場で生かせるように研修を深め、利用者一人一人が後悔のない人生を送れるように、寄り添っていける力を付けて行きたいと思っています。(中田)



第十一回 すすらんの会

十一月二十三日、旭川のホテルで利用者さんの研修会「すすらんの会」が開催され、各自治会の方(更生園から7名、ほつぷから3名)が参加されました。全体研修会のテーマは、「お口の健康と口腔ケアについて」でした。講師の留萌保健福祉事務所の前田主査より、健康な歯が沢山揃っていないと好きなものが食べられないこと、歯周病にならない為に歯茎も健康な状態を保たなければならぬことが話され、後半は実際に歯ブラシを使用する講習が行われました。

午後からは、「防犯・防災について」、「実習・就職について」、「休日の過ごし方について」の

3分科会に分かれ、意見交換をしました。

各分科会では、全員自分の意見を発表したそうですし、他の施設から参加された方達の話を聞き、色々な仕事や生活の中で皆それぞれに工夫し、暮らしていることが分かったと感想を聞かせてくれました。

皆さん真剣に最後までお話を聞き、メモを取る姿が印象的で成長を感じさせて貰いました。(久住呂)



真剣だったという証拠写真



更生園☆楽しい旅日記



空知満喫の旅

10月20日生産活動班Bグループ利用者17名と、職員八名で、『南幌温泉ハート&ハート』へ一泊旅行に行ってきました。

昼食は、長沼町でジンギスカンに舌鼓を打ち、次の目的地『ハイジ牧場』へ：広い敷地内をそれぞれのペースでゆつくりと見学しました。

宿泊先では、温泉と豪華な夕食を満喫し、翌日は、面白い物・羊が丘展望台を見学し、疲れも見せず楽しんでいました。



皆さん笑顔一杯でお土産を沢山持つて、とても元気に帰園しました。(打田)

支笏湖露天の旅

10月28日、29日と印刷、メロン、実習班の16名と職員五名で一泊の旅行へ行ってきました。

一日目は三井アウトレツトモールで買物や食事を楽しみ、丸駒温泉の露天風呂で日頃の疲れをとり、美味しい食事とお酒にそって、カラオケと楽しい宴会となりました。

写真を見たら前夜の満足度が判ると思います。二日目は、小樽の街中を



散策し買物等をい物等をして皆で楽しむの多い、旅行となりました。(野原)

3D体験の旅

8月20日、21日、生産活動班の中でも映画が好きなメンバーが集まり「トイ・ストーリー3」を観てきました。

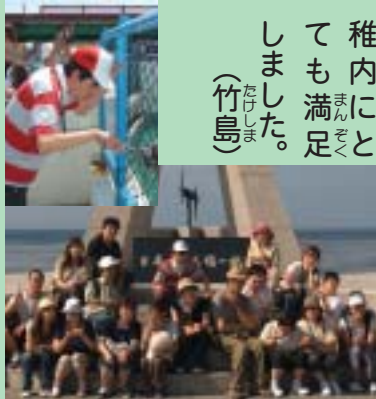
もちろん3Dで♪3Dメガネを皆で掛けて準備パッチリ。初めての3D映画を体験☆笑いあり、涙ありの物語を楽しみました。宿泊は南富良野のログハウ



大きなログハウスだったので気を張る事もなく皆でゆったり、のんびり過ごす事が出来ました。また来ますよ。(高林)

最北の旅

7月16日、利用者さん10名、支援者8名の総勢18名でバスに揺られること往復約5時間、目指すは最北端の地「ノシャップ水族館」。到着後は、北の海にいる珍しい魚たちやアシカのショーを見たり、特に皆さんは、アザラシに餌をあげる事に興味津々・・・とても良い体験ができました。稚内は少々遠くではありますが長い時間を忘れさせるような景色に皆も夏の稚内にと満足しました。(竹島)



美味しんぼの旅

9月2日から1泊で、利用者4名、職員3名で小樽市へ行ってきました。初日は小樽水族館へ行き、宿では早速温泉に浸かり、旅の疲れを癒すためゆっくりしたい所でしたが、皆お腹が空いていたせいか足早に食後のコーヒードまで1滴も残さず堪能しました。2日目は雨の中、小樽市内を少し散策し、昼食を食



た。(佐藤)

プール・ジンギスカン6旅

8月23日と24日に療育班は1泊で定山溪ビューホテルに行きました。ホテルのプールでは水遊びが大好きで、元気にワイワイとはしゃぎ、夜は熟睡しました。2日目も幸い天気に恵まれ、小樽では運河やお土産屋さんをのんびりと散策し、昼食。帰りには、滝川の松尾ジンギスカンでお腹一杯。楽しみも食事もお腹一杯の旅でした。



来年も皆さんの豪快な食生活と笑顔に満ちた旅に参加したいですね。(日名)

平成22年度
園内研修

今年度の園内研修は大きく新任職員研修と外部講師による研修を中心とした計画をしました。新任対象の研修では、中田課長から支援の基本的な内容を具体的な場面を交え話をし、貴い、現場で働くことを自覚する場として実施しました。又、医務研修においては、医務の本、感染症の予防策、感染者への対応等を学びました。さらに今年度は「外部講師による研修の充実」と言う事もあり、4つの研修を盛り込みました。一つ目は、「自閉症について」講師は「自閉症・発達障がい支援センター」おがわ副所長の加藤氏を招き、自閉症の基礎から、取り組み方法等を学び、これからの支援の大きなヒントとなった事でしょう。

二つ目は「介護技術の基本」講師は北翔大学の福田道代氏。麻痺の方、高齢の方等と介護技術を要する場面が多くなっている現場で介護技術は職員にとって大切な技術と考えます。麻痺や白内障等の疑似体験も実際に行う中で改めて当事者の気持ちを感じる良い場面となったと思います。三つ目は、「権利擁護について」。講師は前ほつぷすてつ施設長の大澤邦昭氏。実際の虐待事例をもとに、参加者全員が今までの利用者との関わり方、これからの関わり方を考えさせられる良い機会となりました。四つ目は「チームワークとコミュニケーション」。講師はコミュニケーションナビゲーターの姉帯美和子氏を昨年に続きお呼びし、今回はステップアップバージョンとして、同じ仕事、統一目標のもと職員お互いの考えの違いをどれだけ近

◆ケアホーム避難訓練◆

11月に各ケアホームで火災訓練(避難)を行いました。ケアホーム単位で避難訓練は初めてであり、最初に皆さんに訓練の内容、煙探知機の機能、避難経路・場所等の説明を行ないました。



実際に火災を想定(台所から出火)し、探知機が反応し警報、世話人が気づき、出火場所の確認・消火活動、その後入居者に火事を周知、避難誘導までの一連の動きを行なってみました。

外への避難は世話人の指示通り、口をハンカチで押さえて避難をしていましたし、事前の説明があった為か慌てず、確認された避難場所まで避難することができていました。

終了後は、ホーム毎に反省会を行ない ①世話人は消火器の使用を理解する ②初期消火は行いが無理な消火はせずに避難を優先させる ③利用者さんは、同居者に呼びかけ、まず外へ逃げるという3点をまず確認しました。



火事は起こさない事がまず第一、しかし万が一を想定して避難訓練を今後も継続していく必要を強く感じ終了いたしました。(真鍋)

なんでも相談

更生園の利用者の皆さんは、自分の方から相談に来る事が少ないので、今年度は「茶話会」という名目で、第三者の角谷さんをお招きして9月10日金曜日に、お茶会をしました。5名の利用者さん、施設長なども入ってお茶やお菓子を食べながら和やかな雰囲気の中で「おしゃべり」をしました。

最初は自分の出身地の話などをしながら、徐々に生活の話や仕事の話し、悩んでいた事なども出て来て、2時間程度の時間を予定していたのですが、足りないほどでした。参加された皆さんからも、あらためて「苦情」



という形ではなく自然におしゃべりしながら話す事ができて、大変良かった、又ぜひ参加したいとの話を頂きました。単独で第三者委員の方とお話したいという方もいました。話を聞きながら、自分自身の話を話さず、自分の生活の事などを話さず、自分の生活の事などをお話しました。

「相談に来て下さい」と言っても中々来ることができない人達などは、こういう茶話会的な雰囲気で話せることで、気軽に話が出てきたらと思います。相談に来ないから良いではなく、胸の奥にある思いなどを探りながら、より良い生活を送って頂けるように、これからも続けて行こうと思っております。(中田)



づけるか、同じラインに乗せるかまた、コミュニケーションと言いう手法を用いてどの様にチームワークを構築するかを学ぶ事が出来たのではないのでしょうか。毎年色々知恵を絞り、その時に必要な知識や技術の習得が図られるような園内研修になればと考える進めたいが、何よりも大切なことは職員自

ら「学びたい」と言う気持ちをもち続けることが大切であり、自らが積極的に参加、研修内容の提案をして行く職員になるための場となるよう研修を続けて参りたいと思っております。終わりに研修にご協力戴きました講師の方々に紙面を借りお礼申し上げます。(三浦)

平成22年度園内研修計画表

月	内容(テーマ)	担当	対象
5	新任研修 支援課研修 1. 障がいをもっている人の歴史的背景 2. 入所(地域)施設の役割と変換 3. 「障がい」と「自立」について 4. おにしか更生園が目指してきたもの 5. 倫理綱領	中田課長	新任職員
6	新任職員研修 医務研修 1. 基本的な医療知識 2. 障がいの特性、医療的対応について 3. 感染症について 4. 服薬管理、誤薬事故について	今野看護師 水谷看護師	新任職員
6	AEDの取り扱い及び救命救急講習会 1. 心肺蘇生法 2. AEDの使用法 3. 異物除去法	留萌消防	新任職員 希望職員
11	1日別課体験	園内研修係	全職員
11	新任研修 医務研修 感染症について	今野看護師 水谷看護師	新任職員
その他	コミュニケーションの基本(発展バージョン)	外部講師(姉帯美和子氏)	全職員
	自閉症について	外部講師(加藤 潔氏)	全職員
	人権擁護関係	外部講師(大澤邦昭氏)	全職員
	介護技術に関して	外部講師(福田道代氏)	全職員
その他については、情報が入り次第、講師との日程調整等を進めた上で実施していく。			

★ニューフェイス★

前号で新任職員5名を紹介しましたが、一人もつたいないから(ウンです)後で紹介しなすと思ひましたので、ご紹介したいと思ひます。また、9月にもう一人看護師さんが仲間入りしましたので併せてご紹介いたします。

- 【質問内容】
- ① 自分の長所は？
 - ② 趣味や休日の過ごし方は？
 - ③ どんな支援者になりたいですか？



昭和三十九年三月十八日生
38歳
うお座

▼水谷真琴(看護師)

生活の利便性と安心を今年も戴きました

さる十月十二日、公益財団法人大友福祉振興財団様(札幌市)より、昇降式テーブル一台、フリクリライニング車椅子三台、入浴シャワー用車椅子二台、総額八十三万七千円の購入助成を戴きました。



き、二年続けた助成を頂戴しました。食堂に設置された昇降式テーブルは

- ① 元氣!!!
- ② スポーツしたり、応援観戦
- ③ 各寮の職員と協力させて頂きながら、利用者の皆さんが健康に過ごせるよう努力していきたいと思ひます。



昭和四十九年七月九日生
36歳
かに座

▼土門奈緒子(看護師)

- ① すぐ忘れるところ(長所かい?)・明るい!
- ② ソフトボール・バレーボール。

休日家事、時間があれば「ほーっ」としている。
③ 利用者さんが今何を求めているか?何をすべきかを考え、行動できるような看護師でいたいと思ひています。



入浴しました。また、

さながら無段階に調整できるため、車椅子の肘掛をテーブルにぶつけることもなく、本人の体位に合わせて楽な姿勢で食事を摂ることが出来るようになります。また、ヤワー用車椅子は入口や滑り止めマットなどの段差も楽に移動でき、背面が前後に動くため背中洗いも容易になりました。男女各浴室に配置し活用しています。

みんなで餅つき

-来年も健康で長もち・力もち-

平成22年のもちつき会は、例年12月15日に更生園、その後つすを借りて18日に利用者の方たちと楽しく餅を搗きました。

開設から続けている行事で、ほぼ全員が1度は杵を持ち餅を搗きます。杵を振り下ろしながら今年も元気で過ごせたことへの感謝と来年も災いが無い様にと願いをこめて、インフルエンザなど心配されましたが、無事に開催できて、担当した職員は「ホッ」としたようです。更生園は体育館で民謡のBGMが流れ、みかんなど食べながら、ほっぴは玄関のついでです。



利用して緊急時に活用出来るものとして大変うれしく思っております。

財団の助成要綱に「身体の不便さを補うために直接お役に立つ物を」と記されています。困っている方にそっと手を差し伸べる大友福祉振興財団様の真摯な活動理念が伺えます。度重なるお力添えに衷心より感謝を申し上げるとともに、助成事業完了の報告とさせていただきます。

(濱野)

ローアールで利用者と共に楽しい時間を過ごす事が出来ました。搗き上がったお餅は早速、お雑煮、お汁粉、黄粉餅、納豆餅などなどにして頂きました。中には13個・15個とお餅を食べる利用者さんも...。(歳の数だけ食べるんだっけ...?) まあ、これで健康に23年度を迎える事が出来そうです。



野崎 覚悟!!

若いもんには負けられねえ



☆印刷班作品紹介☆

印刷班では、交通安全旗やTシャツの印刷やエコバックの他にもクリアファイルの印刷も行っています。1枚50円と低価格で作成することが出来ます。サークルや部活、お店の宣伝など用途は様々☆是非、自分だけのオリジナルクリアファイルを作ってみませんか? ご注文は左記まで



おにし加更生園 印刷班 (担当:草薙)
TEL: 0164-57-1321

◆ 北海道障がい者条例 ◆

平成22年4月、全面施行されました。正式には、「北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮しやすい地域づくりの推進に関する条例」と少々長い名前になります。基本的理念は、「障がいのある人が安心して暮らせる地域は、誰にとっても暮しやすい地域である」といった考え方のもとで地域づくりを推進するための条例です。

《施策の3本柱》

1、障がいのある方の「地域へい」を進めます
地域に暮す障がいのある方の困り事を受け止め、ニーズに沿った支援につなげる市町村支援体制「地域づくりガイドライン」を作成。
また、専門的立場から助言を行う「地域づくりコーディネーター」を21の圏域ごとに配置しています。

2、地域で生き生き暮らせるよう働く障がい者を応援します

地域で働くことに挑戦しようとする障がい者やその障がい者を支える企業・サービス事業所等を応援するため「新・北海道働く障がい者応援プラン」に基づき様々な取り組みを進めます。

3、障がいのある方の虐待や差別等をなくし、権利擁護を進めます

「地域づくり委員会」を14圏域ごとに設置し、障がいのあることを理由に差別や虐待、市町村だけでは解決の困難な暮らしていただく中で公平な立場から関係者との話し合いや必要があれば立ち入り調査や改善指導なども行い是正に努めます。

以上が概要ですが、年末札幌において前千葉県知事の堂本氏と高橋知事とでこの条例に関するトークセッションがあり、最後に堂本氏より若い高橋知事に期待するといった言葉が掛けられました。施行前、各地でタウンミーティングが開かれはしましたが、本日に千葉県ほどに住民レベル当事者レベルの意見が汲み取れたのかは、疑問を感じています。しかし、こういった条例が早期に施行される北海道に期待もしています。

記

お父さんとお姉ちゃんも初めての機関紙作り。わからないことだらけで迷惑を掛けてしまいました。二人にはない？若さで何とかなつたよね？
(草薙)

後

今年度で3年目の機関紙を担当しましたが、いつも遅いスタート・・・
今年も元年なので、スタートダッシュで、休む事なくゴールがしたいものです。
(笑美)

集

編

娘二人と機関紙作り、機関紙担当の打合せでは年寄りをいたわり、缶コーヒの差入れを貰いながら・・・いや待て！
実はいたわりではなく、俺に寝ないで機関紙を作れという意味か・・・？
(丸田)